

## 編集後記

2024年4月から医師の働き方改革のほかにも運送業界などで働き方改革が始まるということで、バスや電車のダイヤ変更などが行われています。医療の世界では勤務体制の把握が難しかったために長時間労働が常態化していることが問題となっていますが、ここ数年で当院でも出退勤の打刻やシフト表の提出などが導入・義務化されました。当初は余計な仕事が増えているように感じていましたが、勤務時間や時間外を自分で正確に管理・記録するようになり、どれほどの時間を拘束されているのかを可視化できるようになったため、働き方の管理はしやすくなったように感じます。急変や病態の進行が一刻を争うことも多い小児循環器の世界での正確な時間やシフト管理は、人手の足りない現場では難しいこともあると思います。医師になり20年も過ぎると、私たちが若かったころは…などということを思ったりして、すでに老害になっているのではないかと思ひ悩みますが、こうしたデータをもとに今後はさらに医療の世界も働きやすい環境に変化させていかなければ長続きしないな、と思う日々です。

(島田衣里子)